

# 市民病院

## ◎沿革

大垣市の医療整備は、昭和8年1月郭町1丁目に大垣市立診療所を開所したことに始まる。その後、西濃（岐阜県西部）各町村からの要望により、昭和13年1月大垣市ほか20カ町村診療組合立大垣病院と改組したが、別に農村部においても農村医療の関心がたかまり、昭和18年11月農業団体法の公布とともに、岐阜県農業会に経営を移管、岐阜県信用購買販売利用組合連合会立大垣病院と改組した。その後、時代とともに変遷を経、経営主体、名称の変更があったが、昭和23年1月南高橋町2丁目に移転改築、岐阜県農業会西濃病院と改称、総合病院として発足した。昭和23年8月農協法の公布施行により、岐阜県厚生農業共同組合立西濃病院と改称され、西濃地方唯一の総合病院として利用者も多く県下の農協関連の病院の中でも経営、規模とも抜群であった。

政府の国民皆保険の公布の実施方針の決定により、市においても再び公的医療機関としての市民病院の設立の機運がたかまり、前記西濃病院を市が買収し、昭和34年10月市民病院が開設された。また、移管と並行し、病院近代化計画により建設が進められていた市民病院は、昭和36年6月、現在地の南頬町4丁目診療棟（診療科目10科）1棟鉄筋2階建、病棟1棟（183床）鉄筋3階建及び附属棟を完成し、新しく移築開設され、数々の改築等により現在に至っている。

## ◎概要

市民病院は、岐阜県西部の西濃圏域（大垣地域及び揖斐地域広域市町村圏・2市11町・人口約400,000人）の中核的基幹病院として位置づけられており、地域住民に対する医療の確保、地域医療水準の向上を目指し、医学の進歩に応じた高度医療、救急医療を重点目標として、年々施設、医療機器の整備拡充、並びに医療技術者の確保に努め、地域住民の信頼を得てきた。

昭和55年9月大垣市第二次総合計画基本答申で、圏域における中核的総合病院として、地域住民の健康管理と適正な医療設備の整備拡充を図るよう提言があり、病床不足の解消、ICU・CCU、手術室、検査部門の整備拡充を図るため、昭和57年12月、6か年継続事業で多目的棟（管理棟）・2病棟・伝染病棟の増改築工事に着手した。また、市民各層からの要望により、透析センター（15床を40床に）・管理部門（図書室・研究室等）等の充実のため、昭和61年10月管理棟西の新築工事を継続事業の中に組み入れ着工、昭和63年1月には総工事費89.6億円を費やし全ての工事が完成し、昭和63年2月病床数を808床とした。さらに、昭和63年4月には新生児未熟児センター・胸部外科（心臓血管外科）病床の増床（45床）により総病床数を853床とし、診療科目の増設及び院内の組織の改正を行った。

昭和63年12月大垣市第三次総合計画が策定され、医療技術の進歩による高度医療部門の

整備、救命救急医療体制の充実、さらに外来患者に対するサービスの向上を図るよう提言があり、平成2年5月、5か年継続事業で、増加する外来患者に比し狭隘化し、かつ老朽化した診療棟及び1病棟の改築に着工、平成6年8月には建築工事が完成、平成6年10月に救命救急センター新設等に伴い病床数を増床（35床）し、病床数を888床とした。平成7年10月には外構工事が完成し、平成2年度に着手した診療棟外増改築事業が完了した。また、大垣市第四次総合計画に基づき、老朽化に伴う3病棟の増改築工事を5か年継続事業で平成14年3月に着手し、平成16年9月西側部分の完成に伴い供用を開始した。

救急医療については、昭和40年3月救急病院の指定を受け、地域医療の担い手として、24時間体制を敷き、脳神経外科・循環器科・胸部外科・ICU・CCU等の設置、CT装置・血管連続撮影装置、核磁気共鳴装置、体外衝撃波腎・尿管結石破碎装置等の関連設備の整備により医療体制の充実を図ってきた。平成6年10月には脳卒中、心筋梗塞、頭部損傷等重篤な救急患者に対応する救命救急センターを新設し、一次から三次までの救急医療を実施し成果を挙げている。

平成11年3月限りで、伝染病予防法・性病予防法などが廃止され、4月から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が施行された。これに伴い、従来からの伝染病床30床を廃止し、第二種感染症指定医療機関に指定されるとともに、感染症病床6床の設置により総病床数は864床となった。

また、増加する入院患者の治療を充実するため、一般病床24床を同年7月から増床し、総病床数888床となった。

経営面では開設以来健全経営を維持しており、職員教育面については、院内では病院年報の発刊、対外的には医学図書の発刊と医療技術の研鑽に努め各医学会で評価を得、患者中心の医療の推進に邁進している。

昭和63年5月には、地域医療の確保に重要な役割を果たしていること、健全経営の堅持等の功績により、自治大臣表彰を受賞した。

また、平成15年5月には、病院開設以来健全経営に努め、地域医療の向上に貢献したこと等により、総務大臣賞を受賞した。

平成15年7月には、(財)日本医療機能評価機構より、同機構が学術的な観点から、中立的な立場で評価し、定められた基準を達成しているとして病院機能評価の認定（一般病院種別B）を受けた。

平成17年1月17日、地域の医療機関と連携し、専門的な質の高いがん医療が提供できる病院として、厚生労働大臣から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けた。

平成17年4月より、小児救急医療に係る休日夜間の診療体制を常時整え、初期救急医療施設及び救急搬送機関から転送された小児重症救急患者を受け入れる病院として事業整備を行った。

平成16年5月から3か年の継続事業により、オーダリングシステムから電子カルテシステムまでを整備し、診療情報、患者情報を統合的に管理する、医療情報総合システムの開発に着手、平成18年1月から医師からの検査、処方等の指示が医師の端末入力により各部署へ

と伝わるオーダリングシステムの稼働、平成 19 年 1 月の電子カルテシステムの稼働により、「医療情報総合システム」が完成し、本稼働となった。

平成 14 年 3 月に着手した 3 病棟増改築工事の東側部分が、平成 18 年 12 月に完成し、翌 1 月に供用を開始した。この完成に伴い、10 階には自宅での生活を継続しながら外来通院で抗がん剤治療が受けられるよう「通院治療センター」を開設した。

平成 19 年 4 月から、医療事故の発生防止や医療関係の相談及び地域医療機関との連携強化に対応するため、医療安全対策室と病診連携及び医療福祉相談部門からなる「よろず相談センター」を設置した。

平成 20 年 2 月 29 日後天性免疫不全症候群に関する特定予防指針（平成 18 年 3 月 2 日厚生労働省告示第 89 号）によるエイズ治療の拠点病院に選定された。また、平成 20 年 3 月にはこれまで発見が難しかった小さいがんも見つけることができ、全身の PET 検査と CT 検査が同時に行える PET-CT 装置を購入した。

平成 21 年 3 月 16 日、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、認定基準を達成しているとして病院機能評価の認定 (Ver. 5.0) を取得した。

また、平成 21 年 7 月 1 日に入院医療費を、包括評価による『定額払い』という新しい会計方式=診断群別定額払い方式(DPC)を導入するとともに、医療費のクレジットカードによる収納を開始した。

平成 21 年 9 月には、市民病院救命救急センター増改築工事の一期工事に着手した。

## 1. 診療概要

- (1) 開設者 大垣市
- (2) 所在地 大垣市南頬町 4 丁目 86 番地
- (3) 開設年月日 昭和 34 年 10 月 1 日
- (4) 診療科目等  
診療科目 総合内科、糖尿病・腎臓内科、血液内科、神経内科、消化器科、呼吸器科、循環器科、精神科(精神神経科)、小児科、第 2 小児科(小児循環器、新生児科)、外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科(胸部外科)、呼吸器外科、形成外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、頭頸部・耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科  
[透析センター、新生児集中治療室、通院治療センター、救命救急センター(救急室、集中治療室)、健康管理センター]
- 診療時間 土・日曜日、休日を除く午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分
- 法的資格 地方公営企業法財務適用
- 許可病床 888 床(一般 842 床・感染症 6 床・結核 40 床)
- 届出事項 【基本診療】地域歯科診療支援病院歯科初診料、一般病棟入院基本料

(10対1)、結核病棟入院基本料(15対1)、臨床研修病院入院診療加算、超急性期脳卒中加算、妊産婦緊急搬送入院加算、診療録管理体制加算、医師事務作業補助体制加算(100対1)、新生児入院医療管理加算、重症者等療養環境特別加算、がん診療連携拠点病院加算、栄養管理実施加算、褥瘡患者管理加算、褥瘡ハイリスク患者ケア加算、ハイリスク妊娠管理加算、ハイリスク分娩管理加算、退院調整加算、後期高齢者退院調整加算、歯科外来診療環境体制加算、地域歯科診療支援病院入院加算、救命救急入院料1、特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、小児入院医療管理料3

【特掲診療】喘息治療管理料、糖尿病合併症管理料、地域連携小児夜間・休日診療料2、ニコチン依存症管理料、薬剤管理指導料、医療機器安全管理料1、歯科治療総合医療管理料、血液細胞核酸増幅同定検査、検体検査管理加算(I)、検体検査管理加算(III)、心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算、長期継続頭蓋内脳波検査、神経学的検査、コンタクトレンズ検査料1、小児食物アレルギー負荷検査、画像診断管理加算1、ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影、CT撮影及びMRI撮影、冠動脈CT撮影加算・心臓MRI撮影加算、外来化学療法加算1、無菌製剤処理料、心大血管疾患リハビリテーション料(I)、脳血管疾患等リハビリテーション料(I)、運動器リハビリテーション料(I)、呼吸器リハビリテーション料(I)、集団コミュニケーション療法料、頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術、経皮的冠動脈形成術(高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの)、経皮的中隔心筋焼灼術、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術、埋込型除細動器移植術及び埋込型除細動器交換術、両室ペーシング機能付き埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き埋込型除細動器交換術、大動脈バルーンパンピング法(IABP法)、補助人工心臓、対外衝撃波胆石破碎術、対外衝撃波腎・尿管結石破碎術、医科点数表2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章9部の通則4を含む。)に掲げる手術、輸血管理I、歯周組織再生誘導手術、麻酔管理料、高エネルギー放射線治療、補綴物維持管理料

【食事療養】入院時食事療養(I)

【保険適用外の併用療養費】特別の療養環境の提供、病院の初診、医薬品の治験に係る診療、胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児

(5) 機関指定等

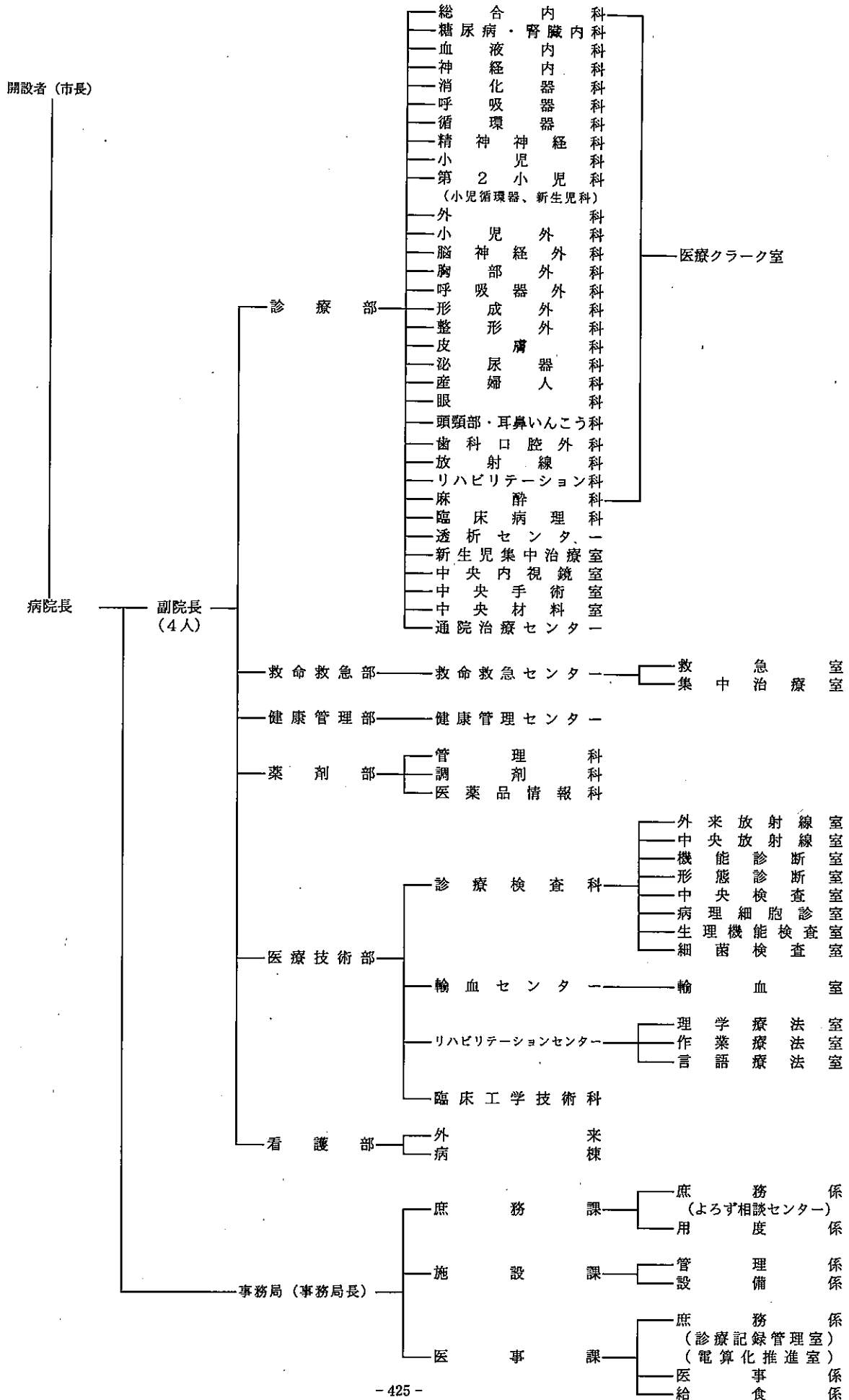
超音波検査において疾患者が強く疑われる症例に係るものに限る)  
保険医療機関・国民健康保険療養取扱機関・労災保険指定病院・救急告示病院・児童福祉法による助産施設・生活保護法指定病院・指定養育医療機関・母体保護法指定医・身体障害者福祉法指定医・原子爆弾被爆者一般疾病指定病院・特定疾患治療研究受託病院・地域災害医療センター指定病院・第二種感染症指定医療機関・指定自立支援医療機関(腎臓・整形外科・口腔・心臓脈管外科・眼科・耳鼻咽喉科・脳神経外科・小腸・免疫・精神通院に関する)指定病院・原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律指定医療機関・透析療法従事職員研修実習施設病院・歯科医師臨床研修施設・医師臨床研修施設・日本医療機能評価機構認定病院・岐阜県特定不妊治療費助成事業医療機関・地域がん診療連携拠点病院・小児救急医療拠点病院・エイズ治療の拠点病院・岐阜県地域周産期母子医療センター認定施設

(6) 教育指定等

日本内科学会認定医制度教育病院  
日本呼吸器外科学会指導医制度関連施設  
日本消化器病学会専門医制度認定施設  
日本整形外科学会専門医制度研修施設  
日本消化器内視鏡学会認定指導施設  
日本皮膚科学会認定専門医研修施設  
日本肝臓学会認定施設  
日本泌尿器科学会専門医教育施設  
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設  
日本眼科学会専門医制度研修施設  
日本小児科学会専門医制度研修施設  
日本耳鼻咽喉科学会認可専門医研修施設  
日本外科学会外科専門医制度修練施設  
日本口腔外科学会認定医研修施設  
日本消化器外科学会専門医修練施設  
日本救急医学会救急科専門医指定施設  
日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所  
日本麻酔科学会麻酔科認定病院  
日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設  
日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設  
日本呼吸器学会認定施設  
日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設  
日本アレルギー学会認定教育施設  
日本透析医学会専門医制度認定施設

日本糖尿病学会認定教育施設  
日本腎臓学会認定研修施設  
日本集中治療医学会専門医研修施設  
日本病理学会病理専門医制度登録施設  
日本神経学会認定医制度教育施設  
日本呼吸器内視鏡学会認定医制度認定施設  
日本形成外科学会認定医研修施設  
日本医学放射線学会放射線科専門医修練協力機関  
日本東洋医学会研修施設  
日本血液学会認定血液研修施設  
日本ペインクリニック学会指定研修施設  
日本環境感染学会認定教育施設  
日本心血管インターベンション学会認定研修施設  
日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度暫定研修施設  
日本臨床細胞学会認定施設  
日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設  
日本臨床腫瘍学会認定研修施設  
認定臨床微生物検査技師制度研修施設  
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定基幹施設  
呼吸器外科専門医認定機構認定関連施設  
日本脳卒中学会認定研修教育病院  
日本病院薬剤師会がん専門薬剤師研修施設  
日本がん治療認定医機構認定研修施設  
日本手の外科学会認定研修施設  
日本心血管カテーテル治療学会教育認定施設  
日本小児循環器学会認定小児循環器専門医修練施設  
日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設A  
日本気管食道学会認定気管食道科専門医研修施設  
日本輸血細胞治療学会認定医制度指定施設

## 2. 機 構



3. 年度別職員数 (各年度5月1日現在)

(単位:人)

区分	年度	16	17	18	19	20	21
医師	医師・歯科医師	127	129	135	135	143	152
	2年目研修医	・11	・15	・14	・16	・16	・16
	1年目研修医	・16	・14	・16	・16	・16	・15
	小計	154	158	165	167	175	183
助産師	助産師	24	22	25	26	28	28
	看護師	586	618	618	618	588	594
	准看護師	51 (うち・2)	46 (うち・2)	41 (うち・1)	37 (うち・1)	30 (うち・1)	26 (うち・1)
	小計	661	686	684	681	646	648
医療技術員	薬剤師	38	38	39	37	38	40
	診療放射線技師	29	30	30	31	33	34
	臨床検査技師	43	47	45	45	45	46
	臨床工学技士	10	13	12	12	13	14
	理学療法士	10	9	10	11	12	12
	作業療法士	4	4	4	4	4	4
	視能訓練士	3	3	3	2	3	2
	マッサージ師	1	—	—	—	—	—
	歯科技工士	1	1	1	—	—	—
	歯科衛生士	4	4	4	3	4	4
	栄養士	5	5	5	5	4	5
言語聴覚士	3	4	4	4	4	4	
小計	151	158	157	154	160	165	
事務員	40 (うち・1)	41	42	41	41	42	
保育士	6 (うち・1)	6 (うち・1)	6 (うち・1)	6 (うち・1)	6 (うち・1)	6 (うち・1)	
医療補助員	救命救急部	1	1	1	1	1	1
	健康管理部	3	3	3	3	3	4
	薬剤部	5	5	5	5	5	5
	診療検査科	21	22 (うち・1)	20	17	15	14
	輸血センター	1	1	1	1	1	1
	リハビリテーションセンター	3 (うち・1)	2	1	1	1	1
	看護部	31	26	26	22	19	15
	庶務課	4	4	3	5	8	8
	施設課	1	1	1	1	1	1
	医事課	15	17	17	17	15	12
小計	85	82	78	73	69	62	
その他の職員	医療ソーシャルワーカー	3 (うち・1)	4 (うち・1)	4 (うち・1)	4 (うち・1)	4	4
	看護補助員	63	61	60	62	58	61
	運転手	2	2 (うち・1)	2 (うち・1)	1	1	1
	電気・ボイラーマン	10	10	10	10	10	10
	技術補助員等	5	5	5	4	3	3
	調理師等	44	39	38	36	35	35
	医事課医療相談員	・1	・1	・1	—	—	—
	庶務課医療相談員	—	—	—	—	1	1
	診療部補助員	—	—	—	—	—	6
	臨床心理士	—	—	—	—	—	2
小計	128	122	120	117	112	123	
合計	1,225	1,253	1,252	1,239	1,209	1,229	
臨時ト	看護師	7	7	6	8	17	24
	准看護師	6	6	6	66	7	8
	その他の職員	30	30	25	32	41	40
非常勤	嘱託医師	18	20	21	22	24	29
	警備員	2	2	2	2	2	3
小計	63	65	60	70	91	105	
総合計	1,288	1,318	1,312	1,309	1,300	1,333	

・印は常勤嘱託



#### 4. 許可病床等の推移

年月日	一般	結核	感染症	合計	病床及び基準看護等の推移
34.10.1	84	100	—	184	病院開設
36.6.1	183	〃	—	283	南類町に移転開設 基準給食、基準寝具実施
37.8.10	〃	〃	(伝染) 45	328	伝染病棟完成により業務委託
38.7.20	193	〃	〃	338	成人病センター完成10床増
40.2.24	263	〃	〃	408	2病棟完成70床増
40.5.31	283	〃	〃	428	大垣市立産院移転改築20床増
44.2.28	293	86	〃	444	5病棟完成 分院廃止 結核14床減 救急30床増
48.9.18	453	〃	〃	604	一般160床増
53.4.1	559	48	〃	672	一般106床増、結核38床減 計68床増
53.6.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般1類 結核3類 承認実施
54.7.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特1類 結核2類 承認
56.9.1	〃	〃	〃	〃	重症者の看護及び重症者の収容の基準 承認実施
57.7.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特2類 結核1類 承認
59.6.1	〃	〃	〃	〃	基準寝具(病衣) 承認実施
59.7.2	628	〃	(伝染) 30	706	増改築工事 管理棟(東)・伝染病棟完成 一般49床増、伝染15床減 計34床増
61.1.7	637	〃	〃	715	増改築工事 2病棟(西)完成 一般9床増
61.4.1	677	〃	〃	755	一般40床増
63.2.1	730	〃	〃	808	増改築工事完成 一般53床増
63.4.1	775	〃	〃	853	一般45床増
元.9.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特3類215床 特2類560床 承認
2.10.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特3類252床 特2類523床 承認
4.10.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 結核 特1類(I) 承認実施
6.10.1	810	〃	〃	888	増改築工事 1病棟完成 一般35床増 基準看護 一般特3類279床 特2類531床増 届出
7.5.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特3類432床 特2類378床増 届出 新看護 結核3対1看護(A) 13対1看補 届出
8.5.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特3類421床 特2類389床 届出
8.6.1	〃	〃	〃	〃	新看護 一般 結核2.5対1看護 13対1看補 届出 結核 8床減 一般8床増
8.6.1	818	40	〃	〃	新看護 一般2.5対1看護(A) 13対1看補 結核 3対1看護(A) 13対1看補 届出
9.6.1	〃	〃	〃	〃	新看護 一般2.5対1看護(A) 10対1看補 結核 3対1看護(A) 6対1看補 届出
10.1.1	〃	〃	〃	〃	新看護 一般2.5対1看護(A) 13対1看補 結核 3対1看護(A) 6対1看補 届出
10.6.1	〃	〃	〃	〃	新看護 一般2.5対1看護(A) 10対1看補 結核 3対1看護(A) 6対1看補 届出
11.4.1	〃	〃	6	864	感染症6床開設 伝染30床廃止
11.7.1	842	〃	〃	888	一般24床増
12.4.1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料2(看護配置 2.5対1) 結核病棟入院基本料3(看護配置 3対1)
12.10.1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料1(看護配置 2対1)
14.5.6	〃	〃	〃	〃	結核病棟入院基本料1(看護配置 2対1) 結核40床のうち15床を休床
16.9.19	〃	〃	〃	〃	結核病棟入院基本料3(看護配置 3対1) 結核40床のうち21床を休床
18.4.1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料(看護職員実質配置 10対1) 結核病棟入院基本料(看護職員実質配置 15対1)

## 5. 診療科目等の推移

年 月 日	診 療 科 目 等 (★は新設 ☆は独立 ◎は名称変更 ◇は廃止)	備 考
34.10.1	内科・小児科・外科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・ 歯科・放射線科・分院	病院開設
36.6.1	★整形外科・★皮膚科・★産院（業務委託）	南頬町に移転開設
36.10.1	☆第2内科（内科から）・★成人病科	成人病センター完成
39.3.26		総合病院指定
40.3.19	★救急室新設	救急告示病院指定
40.4.1	◎皮膚泌尿器科（皮膚科から）	
41.4.1	★理学診療科	
44.4.1	◎呼吸器科（◇分院廃止）・☆皮膚科・☆泌尿器科	5病棟完成
51.12.23	★脳神経外科	
58.8.1	☆循環器科（内科から）・◎消化器科（第2内科）	
59.3.31	◇産院（業務委託）廃止	金生助産所業務受託廃止
63.4.1	★心臓血管外科（胸部外科）・★第2小児科（小児循環器 新生児科） ★麻酔科・★臨床病理科・◎健康管理科（成人病科）	63.1 増改築工事完成
4.4.1	☆第2小児科（小児循環器科、新生児科） ◎歯科・口腔外科	
6.10.1	◎第2小児科（小児循環器、新生児科） ★救命救急センター（◇救急室）	6.8 増改築工事完成
7.4.1	★健康管理センター（◇健康管理科） ◎救命救急センター（救急室、集中治療室）	7.8 診療棟外増改築 工事完成
9.3.1	◎リハビリテーション科（理学診療科）	
9.4.1	◎歯科口腔外科（歯科・口腔外科）・★精神科（精神神経科）	
10.4.1	★形成外科	
15.4.1	★小児外科	
16.4.1	◎総合内科（内科）、☆糖尿病・腎臓内科（内科）、 ☆血液内科（内科）、☆神経内科（内科）	16.8 3病棟西側増改 築工事完成
17.4.1	☆呼吸器外科	18.12 3病棟東側増改 築 工事完成
19.1.1	☆通院治療センター	
20.7.1	◎頭頸部・耳鼻いんこう科（耳鼻いんこう科）	

## 6. 施 設

### (1) 院内の建物（構造及び用途）

・院内敷地面積 34,570.81㎡

・院内建物延床面積 79,318.51㎡

・診療施設 延面積 74,250.20㎡

建 物	完 成 年 月 日	建 物 の 構 造 概 要	用 途	面 積 (㎡)
診 療 棟 1 病 棟 西	H 4. 3. 30	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上6階建	外来診療室、処置室、調剤室、救命救急センター、X線室、検査室、X線CT室、無菌製剤室、薬品倉庫、受付、会計、患者待合、病室、看護師室、分娩室、沐浴室、当直室他	23,759.73
診 療 棟 1 病 棟 東	H 6. 8. 31			
2 病 棟 西	S61. 1. 31	鉄骨鉄筋コンクリート造 9階建	事務室、中央手術室、中央材料室、検査室、X線室、病室、看護師室、処置室他	18,583.01
2 病 棟 東	S63. 1. 31			
管 理 棟 東	S59. 2. 29	鉄筋コンクリート造 6階建	講堂、研究室、研修医室、部長室、更衣室他	3,019.87
管 理 棟 西	S63. 1. 31	鉄筋コンクリート造 5階建	リネン室、消毒室、図書室、透析センター他	2,787.92
西 渡 り 廊 下	S44. 9. 30	鉄筋コンクリート造 2階建	病院感染制御室他	299.67
3 病 棟 西	H16. 8. 31	鉄骨鉄筋コンクリート造 10階建	病室、看護師室、処置室、職員食堂、入院調剤室、輸血センター、医療工学センター、ガンマカメラ室、通院治療センター他	19,989.13
3 病 棟 東	H19. 3. 23			
多 目 的 棟	S51. 7. 29	鉄筋コンクリート造 2階建	事務室他	1,519.59
健 康 管 理 セ ン タ ー	S50. 7. 20	鉄筋コンクリート造 2階建	MR I室、PET-CT室、健康管理センター他	968.68
エ ネ ル ギ ー セ ン タ ー	S54. 7. 31	鉄筋コンクリート造 4階建	ボイラー室、冷凍機室、備蓄センター、監視室、受変電室、自家発電室他	1,689.26
第 2 エ ネ ル ギ ー セ ン タ ー	S63. 1. 31	鉄筋コンクリート造 3階建	冷凍機室、医療ガス機器室他	629.30
感 染 症 病 棟	S59. 3. 31	鉄筋コンクリート造 2階建		673.80
附 属 建 物	—	鉄骨造平屋建	自転車置場、ポンプ室他	330.24

・医師、看護師寮 延面積 5,068.31㎡

建 物	完 成 年 月 日	建 物 の 構 造 概 要	用 途	面 積 (㎡)
医 師 寮	S56. 2.22	鉄筋コンクリート造 4階建	寮室34室、談話室、管理人 室他	1,473.67
看 護 師 寮	S47. 7.12	鉄筋コンクリート造 5階建	寮室75室、談話室、管理人室、 保育所他	3,594.64

(2) 院外の建物 (構造及び用途)

・医師住宅 延面積 1,744.05㎡

建 物	完 成 年 月 日	建 物 の 構 造 概 要	用 途	面 積 (㎡)	戸 数	1 戸 当 た り (㎡)
世 安 住 宅 1～4号棟	S39.10.14	鉄筋コンクリート造 2階建	医師住宅	362.88	4	90.72
世 安 住 宅 5～7号棟	S41. 3.30	鉄筋コンクリート造 2階建	医師住宅	272.16	3	90.72
世 安 住 宅 8～10号棟	S43. 2.28	鉄筋コンクリート造 2階建	医師住宅	272.16	3	90.72
世 安 住 宅 11～13号棟	S44.10.30	鉄筋コンクリート造 2階建	医師住宅	272.16	3	90.72
禾 森 住 宅	S51. 2.28	鉄筋コンクリート造 3階建	医師住宅	564.69	6	94.12

・その他の施設 延面積 1,669.80㎡

建 物	完 成 年 月 日	建 物 の 構 造 概 要	用 途	面 積 (㎡)
バスのりば (南)	S43. 3.31	鉄筋コンクリート造 平家建	外来患者用 (市民病院前バス停)	18.48
バスのりば (北)	S44. 4.25	鉄筋コンクリート造 平家建	外来患者用 (市民病院前バス停)	32.16
新 幹 線 下 倉 庫 A	S52.11.28	鉄骨造2階建	診療録・X線フィルム庫	365.85
新 幹 線 下 倉 庫 B	S53. 9.16	鉄骨造2階建	診療録・X線フィルム庫	232.98
新 幹 線 下 倉 庫 C	S56. 3.25	鉄骨造2階建	一般書類・備品等倉庫	414.16
新 幹 線 下 倉 庫 D	S58.12.22	鉄骨造2階建	一般書類・備品等倉庫	606.17

## 7. 各科別入院・外来患者の推移

### (1) 入院

(単位：人)

科名	年度	16	17	18	19	20
総合内科		478	854	559	263	399
糖尿病・腎臓内科		8,242	10,078	9,878	11,464	10,201
血液内科		18,324	15,387	16,919	15,058	15,767
神経内科		15,444	15,562	15,221	16,702	14,417
消化器科		34,031	35,087	35,536	34,285	31,742
呼吸器科		30,479	29,696	29,318	32,695	30,931
循環器科		21,087	24,852	27,621	28,180	27,286
小児科		15,837	14,826	15,024	12,914	12,227
第2小児科		11,976	10,822	10,175	10,288	11,157
外科		41,587	40,316	41,121	37,938	35,274
脳神経外科		15,017	14,926	14,164	16,796	16,073
胸部外科		6,726	6,390	7,133	8,408	6,295
形成外科		2,461	3,077	2,002	1,831	1,749
整形外科		32,022	31,651	28,783	27,807	25,758
皮膚科		3,816	4,015	4,619	4,015	4,411
泌尿器科		8,606	8,540	7,650	7,906	8,093
産婦人科		16,982	15,244	14,771	14,973	13,083
眼科		5,404	5,226	6,335	5,636	4,911
頭頸部・耳鼻いんこう科		7,019	6,745	6,285	6,282	6,101
歯科口腔外科		3,658	2,961	3,257	3,602	3,133
麻酔科		22	63	43	2	—
感染症		0	0	0	0	0
計		299,218	296,318	296,414	297,045	279,008
1日平均患者数		820	812	812	812	764
年間診療日数		365	365	365	366	365

※外科は小児外科を含む

※胸部外科は平成17年度から呼吸器外科を含む

## (2) 外 来

(単位：人)

科名	年度	16	17	18	19	20
総 合 内 科		9,073	9,108	10,530	9,094	10,728
糖 尿 病 ・ 腎 臓 内 科		36,985	33,462	32,740	34,148	36,459
血 液 内 科		7,955	8,038	8,609	8,328	8,715
神 経 内 科		21,742	19,588	13,859	15,116	12,822
消 化 器 科		80,165	79,481	73,054	68,283	64,336
呼 吸 器 科		39,681	40,106	35,905	36,473	35,963
循 環 器 科		54,865	53,685	48,889	46,809	45,761
精 神 神 経 科		9,773	9,914	9,790	10,143	324
小 児 科		41,310	36,986	35,275	31,356	30,163
第 2 小 児 科		10,918	10,674	11,421	11,686	10,780
外 科		47,310	46,038	47,705	47,883	47,643
脳 神 経 外 科		19,286	17,718	15,290	15,200	15,388
胸 部 外 科		8,176	7,612	7,961	8,626	8,418
形 成 外 科		8,083	8,235	7,476	7,477	7,574
整 形 外 科		52,522	48,752	43,393	42,094	41,453
皮 膚 科		40,575	38,117	41,571	37,587	35,475
泌 尿 器 科		35,491	35,115	33,312	32,862	32,563
産 婦 人 科		27,432	25,463	26,177	27,735	27,883
眼 科		42,943	41,015	37,698	34,169	30,512
頭 頸 部 ・ 耳 鼻 咽 科		21,650	21,230	22,669	24,003	24,267
歯 科 口 腔 外 科		17,929	18,470	17,729	17,691	17,652
リハビリテーション科		22,401	18,016	15,705	15,263	15,542
麻 酔 科		919	923	984	21	116
放 射 線 科		—	—	—	—	49
通 院 治 療 セ ン タ ー		—	—	1,160	5,297	7,040
健 康 管 理 セ ン タ ー		4,266	4,667	4,495	4,879	7,801
計		661,450	632,413	603,397	592,223	575,427
1 日 平 均 患 者 数		2,722	2,592	2,463	2,417	2,349
年 間 診 療 日 数		243	244	245	245	245

※外来の1日平均患者数は年間診療日数で除した数値

※外科は小児外科を含む

※胸部外科は平成17年度から呼吸器外科を含む

※平成18年度から通院治療センターが新設

※平成20年度から放射線科にて、PET-CT の実施数を計上

## 8. 財政状況

### (1) 収益の収入及び支出 (税込み)

(単位：千円)

区分	年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
		決算額	決算額	予算額
病院事業収益		25,745,059	25,464,042	26,030,000
病院医業収益		25,283,433	24,890,833	25,621,800
病院医業外収益		459,927	572,257	407,200
特別利益		1,699	952	1,000
病院事業費用		25,389,828	25,154,738	26,020,000
病院医業費用		23,982,416	23,879,610	25,466,100
病院医業外費用		1,205,929	992,418	257,300
特別損失		201,483	282,710	286,600
予備費		0	0	10,000
差引		355,231	309,304	10,000

### (2) 資本的収入及び支出 (税込み)

(単位：千円)

区分	年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
		決算額	決算額	予算額
資本的収入		221,202	1,110,456	1,331,000
企業債		-	-	200,000
出資金		213,752	98,087	116,800
補助金		-	10,799	11,000
固定資産売却代金		-	998,000	1,000,000
貸付金返還金		4,900	2,500	1,200
寄附金		2,550	1,070	2,000
資本的支出		2,518,388	2,342,680	2,820,000
建設改良費		929,289	790,738	1,655,200
企業債償還金		565,094	515,350	111,700
貸付金		22,450	35,400	48,000
投資		1,001,426	1,001,192	1,005,000
補助金返還金		129	-	100
資本的収入額が資本的支出額に不足する額		2,297,186	1,232,224	1,489,000
補てん財源内訳				
過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額		2,603	5,493	1,255
減債積立金		52,000	45,000	20,000
過年度分損益勘定留保資金		2,242,583	1,181,731	1,467,745